

みずほマーケット・トピック(2025 年 5 月 30 日)

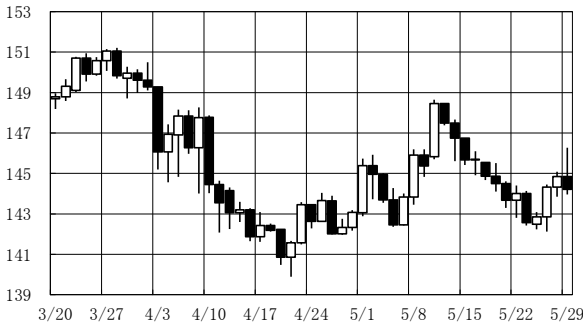
内容	1. 為替相場の動向	2. 来週の注目材料
	※「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。本日発行の『中期為替相場見通し』をご参照下さい。	

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

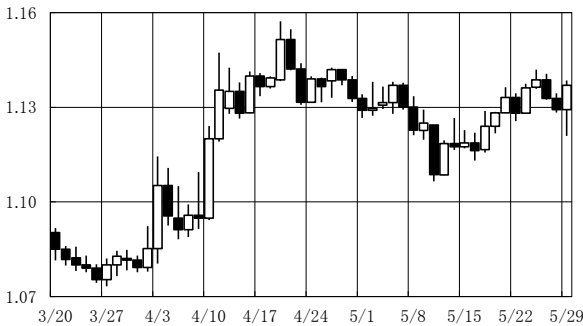
- 今週のドル/円は、じりじり上昇した後、週末にはやや失速した。週初26日、142.81円でオープンしたドル/円はトランプ米大統領による対EU関税発動延期の発表を受け早朝に143円台まで小幅高も、直ぐに142円台前半へ反落。その後は、株高を横目に142円台後半までじり高。海外時間は、欧米休場により薄商いの中、142円台後半を中心にレンジ推移した。27日、ドル/円は植田日銀総裁のタカ派な発言を受け一時週安値となる142.11円まで下落。その後は、財務省による国債発行計画の見直しに関する報道を受けた円金利の大幅低下が材料視され、143円台半ばへ反発。海外時間は、上述報道を受けた円売りが続く中で、米5月コンファレンスボード消費者信頼感の強めな結果も相まって144円台半ばに続伸した。28日、ドル/円は144円台前半を中心に上下動。海外時間は、144円ちょうどまで下げ幅を拡大も、米金利上昇に連れる格好で一時145円台に乗せた。29日、ドル/円は米国際貿易裁判所によるトランプ関税の一部差し止め命令を受けて、一時週高値となる146.29円まで急騰。海外時間は、楽観ムードが後退しドル買いが失速する中で、米経済指標の軟調な結果やトランプ氏による利下げ要求なども重しになり、一時144円を割り込んだ。本日のドル/円は、堅調な本邦物価指標が材料視され、143円台半ばに下落して取引されている。
- 今週のユーロ/ドルは下に往って来いの展開。週初26日、1.1376でオープンしたユーロ/ドルは米政権による対EU関税発動延期を支えに一時週高値となる1.1418を付けた後、上値重く推移した。27日、ユーロ/ドルは米経済指標の良好な結果が重しとなり、1.13台前半に軟化した。28日、ユーロ/ドルは材料難の中で、米金利上昇を横目に1.12台後半へ続落した。29日、ユーロ/ドルは米国際貿易裁判所によるトランプ関税の一部差し止め命令を受けて、一時週安値となる1.1212まで下落。その後は、米経済指標の冴えない結果を受けた米金利低下が支えとなり、1.13台後半に大きく反発した。本日のユーロ/ドルは、引き続き1.13台後半で取引されている。

		前週末	今 週				
		5/23(Fri)	5/26(Mon)	5/27(Tue)	5/28(Wed)	5/29(Thu)	
ドル/円	東京9:00	143.87	142.81	142.62	144.14	145.75	
	High	144.02	143.08	144.47	145.08	146.29	
	Low	142.43	142.23	142.11	143.86	143.97	
	NY 17:00	142.58	142.84	144.33	144.86	144.18	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1282	1.1376	1.1389	1.1337	1.1228	
	High	1.1375	1.1418	1.1406	1.1345	1.1385	
	Low	1.1280	1.1363	1.1324	1.1284	1.1212	
	NY 17:00	1.1370	1.1386	1.1328	1.1293	1.1365	
ユーロ/円	東京9:00	162.52	162.49	162.38	163.36	163.66	
	High	162.73	162.98	163.93	163.88	164.26	
	Low	161.13	162.00	162.11	163.13	163.36	
	NY 17:00	162.07	162.65	163.53	163.57	163.92	
日経平均株価		37,160.47	37,531.53	37,724.11	37,722.40	38,432.98	
TOPIX		2,735.52	2,751.91	2,769.49	2,769.51	2,812.02	
NYダウ工業株30種平均		41,603.07	-	42,343.65	42,098.70	42,215.73	
NASDAQ		18,737.21	-	19,199.16	19,100.94	19,175.87	
日本10年債		1.54%	1.50%	1.46%	1.51%	1.52%	
米国10年債		4.51%	-	4.44%	4.47%	4.42%	
原油価格(WTI)		61.53	-	60.89	61.84	60.94	
金(NY)		3,365.80	-	3,300.40	3,294.90	3,343.90	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、6月2日(月)に5月ISM製造業景気指数が、4日(水)に同非製造業景気指数が公表される予定だ。前回4月の結果はそれぞれ48.7、51.6となり、いずれも市場予想を上回った。製造業は前月に続いての中立水準(50)割れ、非製造業は10か月連続の中立水準超えとなった。ISM指数と一定の相関があるPMIの5月分(速報)は総じて堅調な結果となり、ISM指数がこれに続くかに注目したい。なお、PMIでは価格関連指数の上昇も確認できており、ISMのサブインデックスにも要注意だ。なお、5月の結果に関しブルームバーグの事前予想では、製造業を49.0、非製造業を52.0と見込んでいる。
- 欧州では、6月5日(木)にECB政策理事会が開催される。前回4月会合は▲25bpの利下げを決定し、政策金利(預金ファシリティ金利)は2.25%に設定された。22日に公表された4月会合議事要旨を確認すると、「4月の利下げは6月分の前倒し」「今後はあらゆる選択肢を残しておく」と利下げ継続を確約しない情報発信が話題を集めた。半面、複数メンバーが▲50bp利下げに言及していたこと、景気見通しに関し悪化の確度の高まりが強調されていたことなども併せて考えれば、今後も利下げ路線が続くと考えるのが妥当だろう。実際本稿執筆時点では、6月会合における利下げはほぼ100%織り込まれている。

	本 邦	海 外
5月30日(金)	・4月失業率/有効求人倍率 ・5月東京消費者物価指数 ・4月鉱工業生産(速報) ・4月小売売上高	・独5月消費者物価指数(速報) ・米4月個人所得/支出 ・米4月個人消費支出デフレーター ・米5月ミシガン大学消費者マインド(確報)
6月2日(月)	・1～3月期法人企業統計 ・5月製造業PMI(確報)	・ユーロ圏5月製造業PMI(確報) ・米5月ISM製造業景気指数
3日(火)	_____	・ユーロ圏5月消費者物価指数(速報) ・ユーロ圏4月失業率 ・米4月JOLT求人件数
4日(水)	・5月非製造業PMI(確報)	・ユーロ圏5月非製造業PMI(確報) ・米5月ISM非製造業景気指数 ・米ページブック公表
5日(木)	・4月毎月勤労統計	・独4月製造業受注 ・ユーロ圏4月生産者物価指数 ・ユーロ圏ECB政策理事会 ・米4月貿易収支
6日(金)	・4月家計支出 ・4月景気動向指数(速報)	・独4月鉱工業生産 ・ユーロ圏4月小売売上高 ・ユーロ圏1～3月期GDP(確報) ・米5月雇用統計

【当面の主要行事日程(2025年6月～)】

ECB政策理事会(6月5日、7月24日、9月11日)

日銀金融政策決定会合(6月16～17日、7月30～31日、9月18～19日)

FOMC(6月17～18日、7月29～30日、9月16～17日)

NATO首脳会議(6月24～25日)

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2025年5月29日	IEEPA違法判決はゲームチェンジャーになるか？
2025年5月28日	34年ぶりの首位陥落～24年末対外純資産について～
2025年5月26日	懸念通りの米EU交渉～日本との違い～
2025年5月23日	週末版(ユーロ相場の現状について～堅調に潜むリスク～)
2025年5月22日	円金利上昇と為替相場についての所感
2025年5月21日	赤澤ベッセント会談3.0～争点化する自動車～
2025年5月19日	米国債格下げの影響～急性的ではなく慢性的～
2025年5月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年4月分)
	週末版
2025年5月15日	懲りないドル安ナラティブ～3度目の光景～
2025年5月14日	円の基礎的需給環境について～25年1～3月期～
2025年5月13日	経産省「デジタル経済レポート」を受けて～その②～
2025年5月12日	経産省「デジタル経済レポート」を受けて～その①～
2025年5月9日	週末版(米英合意を受けて～むしろ心配になる米EU交渉～)
2025年5月8日	FOMCを終えて～デュアルマંデートの拮抗～
2025年5月7日	逆「アジア通貨危機」観測の考え方
2025年5月2日	週末版(日銀会合を終えて～「何もわからず、何も決められず」の状況～)
2025年4月28日	EUの対米戦略について～「デジタル赤字への課税」も～
2025年4月25日	週末版
2025年4月24日	不確実性極まるIMF報告～WEOとGFSR～
2025年4月23日	最強通貨の地位が続くスイスフランからの教訓
2025年4月22日	加藤・ベッセント会談プレビュー～為替は争点なのか？
2025年4月18日	週末版(ECB政策理事会を終えて～6月スタッフ見通しの重要性を強調～)
2025年4月17日	マールアラゴ合意の読み方～40年前の再現は不可能～
2025年4月15日	日本の構造変化vs. 国際金融体制の再編
2025年4月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年3月分)
	日米通商交渉プレビュー～論点の検討～
2025年4月11日	週末版(リスクシナリオの高まり～不穏なベッセント発言～)
2025年4月9日	トランプ大統領は「カーブ効果」に耐えられるのか
2025年4月8日	残された望みは「緊急協調利下げ」か？
2025年4月7日	インバウンド需要はピークアウトするか？
2025年4月4日	週末版(正論を掻き消す時代の振り子～デタラメ過ぎる関税根拠と為替政策報告書～)
2025年4月3日	厳しい対米貿易の展望～輸出は減り、輸入は増える～
2025年4月2日	トランプ時代の「為替政策報告書」の意味を考える
2025年4月1日	1～3月期の為替市場外観～割を食うユーロ圏～
2025年3月28日	週末版(世界に拡がるスタグフレーションシナリオ～25%自動車関税の行方～)
2025年3月25日	インフレに適應する家計部門～「貯蓄」から「逃避」～
2025年3月24日	インフレか、デフレか～FOMCを終えて～
2025年3月21日	週末版(日銀会合を終えて～「史上最大の円ロング」、2つの先行き～)
2025年3月18日	「暖かい水」が流れ込むユーロ圏の近況について
2025年3月17日	日銀会合プレビュー～現状維持が基本に～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年2月分)
2025年3月14日	週末版(史上最大だった対外直接投資～厚くなる日本の「仮面」～)
2025年3月12日	過去最大の円ロングに勝算はあるのか？
2025年3月11日	テーマ化する「欧州の再準備」～EUの場合～
2025年3月10日	テーマ化する「欧州の再準備」～ドイツの場合～
2025年3月7日	週末版(ECB政策理事会を終えて～拡張財政路線の足音～)
2025年3月5日	ロ・ウ開戦後3年間の円相場を振り返る～後編～
2025年3月4日	トランプ発言を受けて～「円安はすらい」の一点張り～
2025年3月3日	ロ・ウ開戦後3年間の円相場を振り返る～前編～
2025年2月28日	週末版
2025年2月27日	欧米デカップリングに対するECBの見解
2025年2月25日	ドイツ総選挙レビュー～「壁の内側」では何も変わらず～
2025年2月21日	週末版(不安漂う米国の消費者マインド～追加関税の副作用～)
2025年2月20日	トランプ就任1か月、金利・為替はどう動いたか
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年1月分)
2025年2月18日	円建て輸入物価で読む日銀の「次の一手」
2025年2月17日	本邦10～12月期GDPを受けて～鮮明になるインフレ税～
2025年2月14日	週末版(窮屈になりそうなるECBの政策環境～追加関税とユーロ安～)
2025年2月13日	ドイツ総選挙の展望～重いメルケルの「負の遺産」～
2025年2月12日	デジタルに規定されるサービス赤字10兆円時代の足音
2025年2月10日	為替需給から整理する日米首脳会談
2025年2月7日	週末版(円高の背景整理～その持続性を疑う～)
2025年2月5日	関税相場と円相場～日米首脳会談を控えて～
2025年2月4日	「需給ギャップ」は利上げしない理由になるか？
2025年1月31日	週末版(ECB政策理事会を終えて～極めて大きくなる欧米格差～)
2025年1月30日	FOMCを終えて～近づく「利下げの終わり」～
2025年1月28日	一抹の不安を感じる大統領と財務長官の齟齬
2025年1月27日	日銀会合を終えて～円安次第、変わらず～
2025年1月24日	週末版
2025年1月23日	ユーロ安の影響に言及したラガルドECB総裁
2025年1月22日	ワノッチは解消されたのか～日銀プレビュー～
2025年1月21日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年12月分)
	就任演説を受けて～気になる原油価格の今後～
2025年1月17日	週末版
2025年1月15日	「NISA貧乏」もインフレ税の結果
2025年1月14日	サービス収支赤字の長期試算～赤字▲10兆円の常態化か？～
2025年1月10日	週末版
2025年1月9日	円金利上昇でも円安～恐れていた事態～
2025年1月8日	早速、パリティ割れを視野に捉えるユーロ/ドル相場
2025年1月7日	ブラックスワンとしての「ブラザ合意2.0」を考える
2025年1月6日	25年、円相場見通しポイント整理
2024年12月24日	家計金融資産の現在地～進んだ「貯蓄から投資」～
2024年12月20日	週末版(日銀金融政策決定会合を終えて～円相場は1月まで持つのか～)
2024年12月19日	FOMCを終えて～やはり高そうなる中立金利～
2024年12月18日	ドル覇権への挑戦と第二次トランプ政権
2024年12月16日	スイスフランと円の差を考える～貿易収支の大きな違い～
2024年12月13日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年11月分)
	週末版(ECB政策理事会を終えて～目指すは中立金利以下か？～)
2024年12月11日	本邦大手保険会社の海外企業買収報道を受けて
2024年12月10日	続・円相場の需給環境について～25年ポイント補足～
2024年12月9日	2025年見通しのポイント～金利編その②～